

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 7 月 31 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/31 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h	28.9 °C	4.1 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h	37.1 °C	6.88 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.03 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h	35.1 °C	0.24 kPa g	A系： 0.06 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 Vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/31 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	27.1 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	26.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	26.4 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	7/22 9:50 ~ 7/31 10:05 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

・H26/7/30 10:11~19:09 集中廃棄物処理施設においてサイトバンカ建屋からプロセス主建屋への溜まり水の移送を実施。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/31 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・H26/7/31 9:13 頃 発電所構内で車輛汚染検査・除染作業を実施していた協力企業作業員が、西門研修棟休憩所の身体汚染検査後に倒れたことから、入退域管理棟救急医療室にて医師の診察を受けた。診察の結果、熱中症と診断され、緊急搬送の必要があると判断されたため、同日 10:45 に救急車を要請。その後、12:05 に福島労災病院へ到着。診察の結果、持病と判断。なお、当該作業員に身体汚染はない。
- ・H26/7/31 11:25 頃 入退域管理棟において、汚染検査を行った協力企業作業員の口周りに汚染が確認された。その後、鼻腔及び口腔に汚染はなく内部取込みがないことを確認。念のためホールボディカウンタを受検したところ、結果については前回受検時の値と変わらないことを確認。

- ・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
- 4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
- 4/28～ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。
- 7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。ドライアイスについては、状況を見極めたうえで投入を判断する予定。
- ・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エアータンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

7/28に採取した地下水観測孔 No.1-12 および地下水観測孔 No.1-16 の汲み上げ水については、セシウム 134 およびセシウム 137 の値が、前回値と比較して高く、地下水観測孔 No.1-16 については、過去最高値が検出されたため、7/30に再度採取していたが、その結果、セシウム 134 およびセシウム 137 の値は、前回値(7/28採取分)の3分の1～5分の1程度に低下していたため、今後も監視を継続。

なお、地下水観測孔 No.1-12 および地下水観測孔 No.1-16 の位置する1・2号機取水口間では、海洋への流出防止を目的として、ウェルポイントにおける地下水の汲み上げを継続する。再測定の分析結果は以下のとおり。

<地下水観測孔 No.1-12 の測定結果:今回(7/30)採取分>

- ・セシウム 134:13 Bq/L

- ・セシウム 137:40 Bq/L

<参考:前回(7/28)採取分>

- ・セシウム 134:44 Bq/L(お知らせ済み)

- ・セシウム 137:130 Bq/L(お知らせ済み)

<地下水観測孔 No.1-16 の測定結果:今回(7/30)採取分>

- ・セシウム 134:6.1 Bq/L

- ・セシウム 137:16 Bq/L

<参考:前回(7/28)採取分>

- ・セシウム 134:30 Bq/L(お知らせ済み)

- ・セシウム 137:86 Bq/L(お知らせ済み)

- ・その他の測定結果については、前回採取した値と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。